

## 発言残時間表示について

		本会議場		第3特別委員会室（案）
		案1	案2	
管理方法		議場管理システムで管理 ※現行の議場管理システムで発言残時間を管理	独立管理 ※現行の議場管理システムとは独立して発言残時間を管理	独立管理 ※議場管理システムを導入していない。
規格		幅 93.0 cm × 高さ 52.3 cm（42 ｲﾝﾁ程度）	幅 50.0 cm × 高さ 37.5 cm	幅 50.0 cm × 高さ 37.5 cm
設置台数		3 台	3 台	2 台
ディスプレイ	設置箇所	○議員席前方左右対称に 2 箇所 	○議員席前方左右対称に 2 箇所 	○議員席前方中央に 1 箇所 
		○議員席後方に 1 箇所 	○議員席後方に 1 箇所 	○発言者席後方に 1 箇所 
表示機能		・ 発言者名 ・ 出席者数 ・ 発言残時間（分単位）	・ 発言残時間（分単位）	・ 発言残時間（分単位）
画面		 ※発言者名（会派表示あり）と発言残時間を表示した場合	 ※新たに開発した場合のイメージ図	 ※新たに開発した場合のイメージ図
導入経費 （工事費含む）		1, 089 千円（税抜）	2, 705 千円（税抜）	2, 225 千円（税抜）
職員体制		合計 5 名 〈内訳〉 ・ 振鈴放送兼ストップ ウォッチ 1 人 ・ マイク操作 1 人 ・ 残時間操作 1 人 ・ 議場内後方の補助 2 人	合計 6 名 〈内訳〉 ・ 振鈴放送兼ストップ ウォッチ 1 人 ・ マイク操作 1 人 ・ 残時間操作 2 人（1 人増） ・ 議場内後方の補助 2 人	合計 4 名 〈内訳〉 ・ 振鈴放送 1 人 ・ ストップ ウォッチ 1 人（1 人減） ・ マイク操作 1 人 ・ 残時間操作 1 人（1 人増）
備考		① 発言残時間の操作 現行どおり  ② システム改修 現行のシステムは発言残時間が 59 秒になると、[0 分]と表示され、発言残時間が無くなると、[-1 分、-2 分...]と表示される。これを秒単位まで表示する場合、別途システム改修費として <u>120 万円</u> 程度要する。  ③ インターネット議会放映 インターネット議会放映時には、残時間表示計は映らないので、放映画面に残時間を表示するためには、別途システム改修が必要。	① 発言残時間の操作 本会議運営の時間管理に、議場管理システムと発言残時間による時計が二重に存在することになる。このため、時間の誤差等についての調整が必要となる可能性がある。  ② 残時間表示計を既製品で設置する場合 <u>導入経費 622 千円（税抜）</u> 規格 幅 54.5 cm × 高さ 24.5 cm  ※最大 99 分 59 秒までしか表示できず、100 分以上の残時間表示には対応できない。  ③ インターネット議会放映 同左	① 発言残時間の操作 ストップウォッチ 2 台で行っていた発言残時間の管理を残時間操作計 1 台、ストップウォッチ 1 台で行う。  ② 残時間表示計を既製品で設置する場合 <u>導入経費 500 千円（税抜）</u> 規格 幅 54.5 cm × 高さ 24.5 cm  ※最大 99 分 59 秒までしか表示できず、100 分以上の残時間表示には対応できない。  ③ インターネット議会放映 インターネット議会放映時、発言席後方の残時間表示計が放映画面に映る。